

参考資料

参考資料

- 国県要望
- 糸魚川市総合計画審議会条例
- 諮問文
- 答申文
- 計画策定の主な経過
- 糸魚川市総合計画審議会委員名簿
- 庁内総合計画策定関係者名簿
- 市民アンケート調査結果

◆ 国県要望

第1章 すこやか やすらぎ 支え合いのまちづくり

健康福祉分野

(第1節 子どものすこやかな成長支援)

施策名	No.	内容
1 子育て支援の充実	1	幼児医療費助成及び学童保育事業費補助制度の拡充
2 子育て環境の整備	1	児童福祉施設等施設整備事業費補助制度の拡充

(第2節 高齢者への支援)

施策名	No.	内容
1 高齢者福祉の充実	1	介護保険非該当者への福祉サービスに対する財政支援
	2	介護保険に係る事務経費への財政支援の強化
	3	在宅介護手当支給の補助制度化
2 高齢者生きがいづくりの充実	1	老人生きがい対策補助制度の拡充

(第3節 地域で支え合う福祉の推進)

施策名	No.	内容
2 障害者福祉の充実	1	生涯福祉サービスの利用者負担の見直し
	2	地域生活支援事業費補助制度の拡充
3 社会保障制度の適正・健全な運営	1	国民健康保険の国庫負担率の拡充強化

(第4節 健康づくりの推進)

施策名	No.	内容
1 市民自らの健康づくりの推進	1	健康診査事業、保健事業等に対する補助制度の充実

(第5節 地域医療体制の充実)

施策名	No.	内容
1 地域医療体制の充実	1	医師・医療技術者の確保対策
	2	医療設備補助事業の拡充
2 救急医療体制の充実	1	救急医療を支える地域基幹病院等の充実

(第1節 就学前教育・学校教育の充実)

施策名	No.	内容
2 小・中学校教育の充実	1	公立学校施設整備費補助制度の拡充
	2	30人学級編成の早期実現と国庫負担金による教員の増員
	3	地域や生徒のニーズに対応した高等学校教育の充実

(第2節 生涯学習の充実)

施策名	No.	内容
1 生涯学習体制の整備	1	生涯学習に対する補助制度の拡充

(第3節 文化の振興)

施策名	No.	内容
1 芸術文化の振興	1	文化施設運営に対する支援
2 地域固有の歴史・文化の継承と活用	1	地域文化活動推進事業補助制度の拡充
	2	国県指定文化財及び遺跡の保存・活用の強化

(第4節 生涯スポーツの振興)

施策名	No.	内容
1 生涯スポーツ活動の推進	1	生涯スポーツ振興事業費補助制度の拡充
	2	体育施設整備及び運営に対する支援

(第1節 交通ネットワークの整備)

施策名	No.	内容
1 広域幹線道路網等の整備	1	地域高規格道路松本系魚川連絡道路の整備促進
	2	一般国道8号系魚川東バイパス及び親不知防災事業の促進
	3	一般国道148号の整備促進
	4	県道の整備促進（西飛山能生線、西中系魚川線、青海水崎線ほか）
	5	都市計画道路中央大通り線県代行事業の促進
3 港湾の整備	1	姫川港の整備促進
4 公共交通機関の充実	1	北陸新幹線並行在来線の経営確保
	2	J R北陸本線、大系線の利便性の向上
	3	生活交通確保対策運行補助制度の拡充

(第2節 北陸新幹線開通に向けたまちづくり)

施策名	No.	内容
1 魅力あるまちの顔づくり	1	北陸新幹線の整備促進
	2	北陸新幹線系魚川駅周辺整備の支援充実

(第3節 地域情報化の推進)

施策名	No.	内容
1 情報通信基盤の整備	1	地域情報ネットワーク整備への支援充実

(第4節 住みよい住環境の整備)

施策名	No.	内容
1 住宅・宅地の整備	1	建築物の耐震化に対する補助制度の拡充
2 公園緑地の整備	1	都市公園事業費補助制度の拡充
3 上水道の整備	1	簡易水道事業補助制度の拡充
4 下水道の整備	1	公共下水道事業費補助制度の拡充
	2	浄化槽設置整備事業補助制度の拡充

(第5節 国土の保全と整備)

施策名	No.	内容
2 治山・治水	1	直轄砂防事業・県通常砂防事業・県火山砂防事業の促進
	2	地すべり対策事業の促進（青ぬけ地区ほか）
	3	雪崩対策事業の促進（猿倉地区ほか）
	4	治山事業の促進
	5	河川排水路整備事業の促進 （2級河川、小河川、排水路改修）
	6	河川改修事業の促進（姫川）
	7	河川えん堤整備事業の促進（青海川）
	8	急傾斜地対策事業の促進（宮花町1区）
3 海岸の保全と整備	1	海岸侵食対策事業の促進 （中宿海岸、市振海岸、百川海岸ほか）
	2	漁港海岸保全施設整備事業の促進（大和川海岸）
	3	港湾海岸侵食対策事業の促進（青海・寺地地区）

(第1節 働きやすい労働環境づくり)

施策名	No.	内容
2 人材の確保と育成	1	若者の地元就職・UJIターン促進対策に対する支援措置の拡充
	2	高等職業訓練校の充実

(第2節 活力ある商工業の振興)

施策名	No.	内容
1 鉱工業の振興 2 商業の振興	1	誘致企業に対する支援措置の拡充
	2	企業の地方分散促進と地方進出企業に対する支援措置の拡充
	3	企業団地等基盤整備に対する財政支援措置の拡充
	4	地方産業育成資金等中小企業向け融資制度の拡充
	5	商業団体に関する指導援助の強化
	6	新地域経済基盤強化対策の推進
	7	商店街振興に対する財政支援措置の確立

(第3節 魅力ある観光の振興)

施策名	No.	内容
1 観光資源の活用	1	観光施設整備補助制度の拡充
	2	親不知マリン整備事業に対する財政支援
2 誘客宣伝の促進	1	宣伝活動・イベントの実施に対する支援

(第4節 農林水産業の振興)

施策名	No.	内容
1 農林水産業の活性化	1	後継者育成対策の拡充
	2	中山間地域等直接支払制度の継続と拡充
2 農林水産業の基盤整備	1	中山間地域総合整備事業の促進(西海地区)
	2	中山間地域総合農地防災事業の促進(早川西側2期地区、早川東側地区)
	3	農地環境整備事業の促進(高倉地区)
	4	里地棚田保全整備事業の促進
	5	広域営農団地農道整備事業の促進(西頸城2期地区)

施 策 名	No.	内 容
2 農林水産業の基盤整備	6	農免農道整備事業の促進（須川下倉 2 期地区）
	7	一般農道整備事業の促進（大洞、中山、早川右岸地区）
	8	林道開設事業の促進（放山線、海沢線）
	9	フォレスト・コミュニティ総合整備事業の促進
	10	広域漁港整備事業の促進（能生漁港）
	11	地域水産物供給基盤整備事業の促進（筒石漁港）
	12	海岸保全施設整備事業の促進（能生漁港）

(第1節 環境の保全と資源循環型社会の形成)

施策名	No.	内容
2 循環型社会の形成	1	産業廃棄物の処理対策の促進
	2	廃棄物リサイクル事業の促進
4 克雪・利雪のまちづくり	1	雪寒地域道路事業費補助制度の拡充

(第2節 安全・安心のまちづくり)

施策名	No.	内容
1 防災・危機管理の推進	1	地震・火山に対する監視体制の強化
	2	地震被害想定調査への財政支援
	3	消防・防災施設等整備費補助制度の拡充
	4	消防・救急無線デジタル化事業への支援

(第2節 効率的な行財政運営の推進)

施策名	No.	内容
1 効率的な行政運営の推進	1	地方分権の推進
2 効率的な財政運営の推進	1	地方交付税率の引上げ
	2	地方単独事業に対する財政的支援措置の拡充
	3	過疎対策・辺地対策・特別豪雪対策事業債の枠の拡充
	4	豪雪地域における住民税の軽減措置
	5	国庫補助負担率の引上げ

◆ 糸魚川市総合計画審議会条例

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、糸魚川市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、糸魚川市総合計画に関する事項について調査し、及び審議する。

(組織)

第3条 審議会は、委員30人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げるもののうちから市長が委嘱する。

- (1) 地区代表
- (2) 学識経験者
- (3) 諸団体役職員

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、諮問に係る事項について、調査及び審議を終了するまでとする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、企画財政課において処理する。

(委任)

第8条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成17年3月19日から施行する。

附 則(平成17年6月27日条例第210号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成18年3月22日条例第16号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

◆ 諮問文

企 第 104 号
平成17年8月30日

糸魚川市総合計画審議会
会 長 清水 淳一 様

糸魚川市長 米田 徹

糸魚川市総合計画について（諮問）

平成17年3月19日、新たな「糸魚川市」が誕生し、現在、合併前に策定した新市建設計画をまちづくりの指針として新市の行政運営を行っているところであります。

一方、地方自治法の規定に基づき、総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、基本構想、基本計画からなる糸魚川市総合計画を策定する必要があります。この総合計画は、新市建設計画を尊重し、さらに発展させた計画として、糸魚川市の行政運営の基本となる計画であり、各分野の個別計画を策定するにあたっての指針となるものであります。

糸魚川市の新たなまちづくりを確実に推進するため、糸魚川市総合計画を速やかに策定する必要がありますことから、糸魚川市総合計画基本構想案及び同構想に基づく基本計画案について、貴審議会より答申いただきたく、ここに諮問いたします。

◆ 答申文

平成18年8月3日

糸魚川市長 米田 徹 様

糸魚川市総合計画審議会
会長 清水 淳一

糸魚川市総合計画について（答申）

平成17年8月30日付け企第104号で諮問のあった糸魚川市総合計画の策定について、慎重な調査・審議の結果、別冊の「糸魚川市総合計画基本構想案及び糸魚川市総合計画前期基本計画案」のとおり答申いたします。

また、本計画の推進にあたっては、厳しい財政状況の中、長期的な視点に立った計画的・効率的な行財政運営を進めるとともに、次の事項に配慮されるよう要望いたします。

なお、地域別計画につきましては、一日も早い新市の一体感を醸成しなければならないことから、策定しないことといたしました。

記

- 1 新糸魚川市誕生直後の総合計画であることから、能生地域、糸魚川地域、青海地域の特色を生かしながら、全市的な一体感を醸成し、市民が一体となった新しいまちづくりを進めること。
- 2 これからの厳しい地域間競争を勝ち抜くためには、人材の育成が重要であり、郷土を愛し、地域を担う人材育成に向けた教育を進めること。
- 3 国道8号の交通渋滞は、市民生活及び企業活動を著しく妨げており、糸魚川東バイパスの梶屋敷・押上間の早期完成と梶屋敷・間脇間の早期取組に向けた対応を進めること。
- 4 地域情報化は、市民の意向と整備目的を明確にした上で、近年の情報通信技術の進展を踏まえ、導入経費、維持管理費、利用者負担などに十分配慮し、将来の過大な財政負担にならないよう進めること。
- 5 平成26年度末開業予定の北陸新幹線は、本市にとってまたとない大きなチャンスであり、開業に向けた魅力あるまちづくりを進めること。
- 6 少子化対策については、現在、国において検討が進められているところであり、これらの概要が示された段階では、国の施策を踏まえ、より積極的な施策を進めること。

◆ 計画策定の主な経過

[総合計画審議会関係]

(平成17年度)

期 日	会議名等	会 議 内 容 等
8月30日	第1回審議会	・策定基本方針について ・基礎的資料内容説明
9月20日	第2回審議会	・基礎的資料内容説明 ・本市の主要課題について
10月5日	第3回審議会	・本市の主要課題について ・分科会の設置及び意見を聞く会の開催について
10月24日	第4回審議会	・本市の主要課題について ・計画体系について
10月中旬 ～ 11月下旬	分 科 会	第一分科会 10月18日、11月1日、11月16日 第二分科会 10月26日、11月15日、11月22日 第4回審議会にて提示した計画体系にごとに審議
10月下旬 ～ 11月上旬	意見を聞く会 (審議会主催)	10月28日 教育分野(青海総合福祉会館) 10月31日 地域づくり・自治分野(能生支所) 11月7日 産業分野(ビーチホールまがたま) 11月9日 健康福祉分野(ビーチホールまがたま)
11月30日	第5回審議会	・分科会での審議結果報告について ・中間報告について
12月9日	第6回審議会	・中間報告の最終取りまとめ
12月16日	中 間 報 告	・審議会から市長へ中間報告
1月25日	第7回審議会	・基本構想について
2月1日	第8回審議会	・基本構想及び基本計画について
2月14日	市 議 会 (全員協議会)	・中間報告内容について説明
2月～3月	分 科 会	第一分科会 2月9日、2月13日、2月23日 第二分科会 2月16日、2月24日、3月1日 分野別に審議
3月11日	第9回審議会	・分科会の審議結果報告について ・分科会等での意見を踏まえ基本構想の修正について
3月17日	第10回審議会	・分科会等での意見を踏まえ基本計画の修正について
3月24日	第11回審議会	・分科会等での意見を踏まえ基本計画の修正について

(平成18年度)

期 日	会議名等	会 議 内 容 等
4月13日	第12回審議会	・分科会等での意見を踏まえ基本計画の修正について
4月20日	第13回審議会	・中間答申の最終とりまとめ
4月28日	中 間 答 申	・審議会から市長への中間答申
5月15日	現 地 視 察	・審議会市内視察
5月26日	市 議 会 (全 員 協 議 会)	・中間答申内容について説明
5月中旬	地域審議会へ 説 明	・地域審議会の意見聴取 能生地域審議会(5月18日) 糸魚川地域審議会(5月23日) 青海地域審議会(5月25日・6月21日)
5月中旬 ~ 下 旬	住 民 説 明 会	・中間答申内容を説明・意見聴取 (平日の昼間3会場と夜間1会場の4回開催) 青海生涯学習センター(5月17日) 能生事務所(5月22日) ビーチホールまがたま(5月29日昼・夜)
6月9日	第14回審議会	・中間答申に対する意見対応について
6月30日	第15回審議会	・中間答申に対する意見対応について ・財政計画について
7月11日	第16回審議会	・基本計画の目標数値及び登載事業について ・財政計画について
7月12日	市議会(議員派遣)	・中間答申に対する意見交換
7月27日	第17回審議会	・中間答申に対する意見対応について
8月3日	第18回審議会	・最終答申のとりまとめ
8月3日	最 終 答 申	・審議会から市長への最終答申
8月21日	市議会(議員派遣)	・市議会議員へ最終答申内容について説明
9月27日	市議会定例会	・基本構想議決

【総合計画策定委員会関係】

(平成17年度)

期 日	会議名等	会 議 内 容 等
4月14日	定例部・課長会議	・総合計画策定の考え方について
5月 ～8月	基礎調査等	・基礎資料収集及び分析 ・市民アンケート調査(7月)
6月23日	第1回委員会	・策定基本方針について ・基礎的資料内容説明
7月5日	第2回委員会	・総合計画策定状況について
7月6日	定例部・課長会議	・本市の主要課題について
7月21日	第3回委員会	・本市の主要課題について
7月28日	第4回委員会	・本市の主要課題について ・部会の設置について
8月30日	定例部・課長会議	・総合計画策定状況について
10月中旬 ～ 11月下旬	部 会	第1部会 8月8日、8月25日、10月12日 第2部会 8月5日、8月24日、10月4日
11月28日	第5回委員会	・計画体系及び中間報告について
12月22日	第6回委員会	・都市像について
1月6日	定例部・課長会議	・総合計画(中間報告)について
1月10日	第7回委員会	・都市像について
1月17日	第8回委員会	・基本構想について
3月28日	第9回委員会	・基本計画の目標数値について

(平成18年度)

期 日	会議名等	会 議 内 容 等
4月19日	第1回委員会	・これまでの経過及び今後のスケジュールについて
5月2日	定例部・課長会議	・総合計画(中間答申)について
6月5日	第2回委員会	・中間答申に対する意見対応について ・基本計画の目標数値について
6月26日	第3回委員会	・中間答申に対する意見対応について ・基本計画の目標数値について
7月19日	第4回委員会	・基本構想及び基本計画の最終とりまとめ
8月8日	定例部・課長会議	・総合計画最終答申について
10月31日		・基本計画の決定

◆ 糸魚川市総合計画審議会委員名簿

	氏 名	選出区分	備 考
会 長	清 水 淳 一	地区代表	
副 会 長	五十嵐 須磨子	学識経験者	
委 員	内 山 吉 久	地区代表	
”	小 竹 一 朗	”	第二副分科会長
”	白 沢 賢 二	”	第一分科会長
”	白 山 新太郎	”	第一副分科会長
”	中 村 康 司	”	
”	朝 日 仁 美	学識経験者	公募委員
”	五十嵐 仁	”	
”	井 川 和 広	”	公募委員
”	岡 澤 豊	”	
”	小 野 正 悦	”	第二分科会長
”	笠 原 千 ツ	”	
”	金 子 裕美子	”	
”	清 水 淳	”	公募委員
”	竹 田 重 嗣	”	
”	比 後 和 泉	”	
”	廣 川 臣	”	公募委員
”	磯 村 勝 美	諸団体役職員	平成18年3月31日辞任
”	植 木 靖 英	”	
”	恩 田 博 文	”	
”	熊 倉 晃	”	
”	斉 藤 武 司	”	
”	佐々木 洋 子	”	
”	新 保 ルミ子	”	
”	土 田 貞 夫	”	
”	中 村 将 人	”	
”	平 野 拓 二	”	
”	廣 瀬 美枝子	”	
”	山 下 建 夫	”	

(委嘱期間：平成17年8月30日～平成18年9月30日)

庁内総合計画策定関係

糸魚川市部・課長会議名簿

平成 17 年 度		平成 18 年 度	
役 職 名	課 名	役 職 名	課 名
市 長	米 田 徹	市 長	米 田 徹
助 役	栗 林 雅 博	助 役	栗 林 雅 博
収 入 役	倉 又 孝 好	収 入 役	倉 又 孝 好
教 育 長	小 松 敏 彦	教 育 長	小 松 敏 彦
総 務 課 長	本 間 政 一	総 務 企 画 部 長	野 本 忠 一 郎
企 画 課 長	野 本 忠 一 郎	市 民 生 活 部 長	小 林 清 吾
財 政 課 長	荻 野 修	建 設 産 業 部 長	渡 辺 和 夫
ま ち づ く り 課	小 掠 裕 樹	総 務 課 長	本 間 政 一
市 民 課 長	田 上 正 一	企 画 財 政 課 長	織 田 義 夫
福 祉 事 務 所 長	織 田 義 夫	能 生 事 務 所 長	小 林 忠
健 康 増 進 課 長	小 林 正 雄	青 海 事 務 所 長	山 崎 利 行
商 工 観 光 課 長	田 村 邦 夫	市 民 課 長	田 上 正 一
農 林 水 産 課 長	渡 辺 和 夫	福 祉 事 務 所 長	小 掠 裕 樹
建 設 課 長	吉 岡 隆 行	健 康 増 進 課 長	荻 野 修
都 市 整 備 課 長	神 喰 重 信	商 工 観 光 課 長	田 鹿 茂 樹
能 生 支 所 長	小 林 忠	農 林 水 産 課 長	早 水 隆
青 海 支 所 長	山 崎 利 行	建 設 課 長	神 喰 重 信
会 計 課 長	斉 藤 隆 嗣	新 幹 線 推 進 課 長	田 村 邦 夫
議 会 事 務 局 長	霜 越 東 雄	出 納 室 長	小 林 正 雄
監 査 委 員 事 務 局 長	広 川 亘	議 会 事 務 局 長	斉 藤 隆 嗣
農 業 委 員 会 事 務 局 長	原 義 男	監 査 委 員 事 務 局 長	広 川 亘
(教)教育総務課長	黒 坂 系 夫	農 業 委 員 会 事 務 局 長	原 義 男
(教)学校教育課長	長 谷 川 新 平	(教)教育総務課長	黒 坂 系 夫
(教)生涯学習課長	山 岸 洋 一	(教)学校教育課長	月 岡 茂 久
(教)文化振興課長	田 鹿 茂 樹	(教)生涯学習課長	山 岸 洋 一
ガ ス 水 道 局 長	松 沢 忠 一	(教)文化振興課長	山 岸 欽 也
消 防 長	白 山 紀 道	ガ ス 水 道 局 長	松 沢 忠 一
		消 防 長	吉 岡 隆 行

庁内総合計画策定関係

◆ 糸魚川市総合計画策定委員会委員名簿

	平成17年度			平成18年度		
	課名	役職名	氏名	課名	役職名	氏名
委員長	まちづくり課	参事	小林 強	総務課	参事	小林 強
副委員長	建設課	参事	岡田 正雄	新幹線推進課	参事	岡田 正雄
副委員長	財政課	課長補佐	久保田 幸利	-	-	-
委員	総務課	課長補佐	斉藤 隆一	総務課	課長補佐	斉藤 隆一
"	能生支所	副参事	池田 正吾	能生事務所	副参事	池田 正吾
"	能生支所	主査	星野 裕子	青海事務所	副参事	山岸 寿代
"	青海支所	次長	伊藤 秀文	市民課	副参事	吉岡 恵子
"	青海支所	係長	山岸 寿代	市民課	副参事	山 英男
"	市民課	参事	山崎 弘易	福祉事務所	参事	中村 洋市
"	市民課	係長	吉岡 恵子	福祉事務所	次長	結城 一也
"	まちづくり課	副参事	山 英男	健康増進課	副参事	伊奈 晃
"	まちづくり課	副参事	佐藤 一孝	健康増進課	係長	杉田 康子
"	福祉事務所	参事	吉田 等	商工観光課	課長補佐	吉岡 正史
"	福祉事務所	係長	中村 政行	農林水産課	課長補佐	滝川 一夫
"	健康増進課	副参事	伊奈 晃	建設課	課長補佐	金子 晴彦
"	健康増進課	係長	杉田 康子	建設課	副参事	猪又 功
"	商工観光課	課長補佐	吉岡 正史	教育総務課	係長	伊賀 孝
"	農林水産課	課長補佐	早水 隆	学校教育課	参事	渡辺 千一
"	都市整備課	課長補佐	金子 健一	生涯学習課	参事	渡辺 辰夫
"	教育総務課	参事	中村 洋市	文化振興課	課長補佐	高橋 謙之
"	学校教育課	課長補佐	月岡 茂久	ガス水道局	次長	滋野 匠
"	生涯学習課	参事	山崎 利文	ガス水道局	副参事	渡辺 勇
"	文化振興課	課長補佐	高橋 謙之	消防本部	室長	下澤 武夫
"	ガス水道局	次長	滋野 匠	農業委員会室	副参事	吉田 猛
"	消防本部	室長	下澤 武夫			
"	農業委員会事務局	副参事	吉田 猛			
"	市民会館	館長	宮崎 和夫			

(委嘱期間：平成17年6月1日～平成18年3月31日、平成18年4月1日～平成18年9月30日)

	平成17年度			平成18年度		
	課名	役職名	氏名	課名	役職名	氏名
事務局	企画課	課長	野本 忠一郎	企画財政課	課長	織田 義夫
"	"	課長補佐	金子 裕彦	"	室長	久保田 幸利
"	"	副参事	佐々木 繁雄	"	課長補佐	金子 裕彦
"	"	副参事	岩崎 良之	"	副参事	藤田 年明
"	"	主査	山本 将世	"	主任主査	山本 将世
"	"	主任主事	内山 俊洋	"	主査	伊藤 伸一

◆ 市民アンケート調査結果

<15歳以上市民対象>

調査期日 平成17年7月

標本数 4,500

回収数 2,157

回収率 47.9%

はじめにあなた自身のことについて、お聞きいたします。あてはまる番号に をつけてください。

性 別	1 男性 38.7%	2 女性 48.0%	未回答 13.3%	
年 齢	1 15歳～29歳 10.3%	2 30歳～39歳 9.8%		
	3 40歳～49歳 11.6%	4 50歳～59歳 19.5%		
	5 60歳～69歳 20.1%	6 70歳以上 25.4%	未回答 3.3%	
居 住 地	能生地域 (467人)	1 磯部 17.8%	2 能生 37.9%	3 能生谷 35.3%
	系魚川地域 (1,221人)	4 木浦 9.0%	1 浦本 4.0%	2 下早川 8.1%
		3 上早川 2.8%	4 大和川 12.9%	5 西海 7.9%
		6 大野 5.2%	7 根知 4.7%	8 小滝 1.3%
		9 今井 1.7%	10 系魚川 51.4%	
地	青海地域 (419人)	1 須沢・今村新田 28.6%	2 田海 26.7%	
		3 寺地 15.8%	4 青海 18.9%	
		5 歌・外波 4.3%	6 市振・上路 5.7%	
	未回答 (50人)			
職 業	1 農業、林業、漁業(第一次産業)		7.9%	
	2 鉱工業、建設業、製造業(第二次産業)		14.6%	
	3 商業、飲食業、金融保険業、不動産業、運輸・通信業、電気業、農協、サービス業、公務員(第三次産業)		24.8%	
	4 家事 13.5%	5 無職 25.3%	6 学生 4.1%	
	7 その他 6.0%	未回答 3.8%		
	仕事先・通学先			
1 能生地域	7.8%	2 系魚川地域	31.6%	
3 青海地域	8.5%	4 上越市	3.3%	
5 1～4以外の県内	0.8%	6 富山県・長野県	0.8%	
7 1～6以外	1.2%			
8 働いていない・就学していない			19.2%	
未回答		26.8%		
出 身 地	1 能生地域	19.0%	2 系魚川地域 46.4%	
	3 青海地域	15.2%	4 県内の他市町村 5.9%	
	5 1～4以外の地域	8.0%	未回答 5.5%	
	同居のご家族はいますか			
1 乳幼児	6.7%	2 小学生・中学生	12.2%	
3 高校生	6.2%	4 大学生・専門学校生	1.7%	
5 65歳以上の方	29.1%	6 1～5以外の家族	36.8%	
7 ひとりで暮らしている	4.9%	未回答	2.4%	

● 問1 あなたは、次の項目について、糸魚川市をどのように感じていますか。項目ごとにあてはまるものを1つ選び、右の□に番号をご記入ください。

(単位：%)

	そう思う	少し思う	どちらとも いえない	あまり思 わない	そう思わ ない	未回答
自然環境に恵まれたまち	65.7	20.9	6.3	2.6	1.6	2.9
生活環境がよく清潔なまち	16.9	33.6	28.8	13.2	3.9	3.6
高齢者が安心して暮らせるまち	11.2	21.3	31.0	22.8	10.9	2.8
子どもが暮らしやすいまち	11.5	21.0	31.8	20.8	10.9	4.0
成人が暮らしやすいまち	3.8	9.7	28.6	30.9	23.2	3.8
習慣にとらわれず自由に 意見が言えるまち	4.9	12.0	32.6	27.5	19.2	3.8
愛着がありふるさとと思 えるまち	31.3	32.1	20.5	8.7	3.9	3.5
地域の活動が積極的なまち	8.4	24.6	35.4	19.4	8.3	3.9
健康づくりが活発なまち	7.5	24.3	36.3	19.5	8.4	4.0
保健・医療施設が整備さ れたまち	7.1	18.8	25.3	25.6	19.5	3.7
買い物が便利なまち	6.3	10.1	15.1	26.9	38.0	3.6
観光資源が充実・整備さ れたまち	3.5	14.9	26.9	28.3	22.4	4.0
物価が安いまち	2.3	6.0	24.0	26.0	38.3	3.4
道路や鉄道など交通の便 がよいまち	5.5	13.2	20.1	26.1	31.9	3.2
防災体制の整った災害に 強いまち	4.6	12.9	39.3	24.6	14.9	3.7
子どもの教育環境がよい まち	7.5	19.9	38.6	18.6	11.4	4.0
働く場に恵まれたまち	1.4	3.5	12.8	29.6	49.2	3.5
文化芸術活動が活発なまち	3.2	14.6	35.6	26.6	16.2	3.8
スポーツ・レクリエーシ ョン活動が活発なまち	5.7	21.7	37.3	20.9	10.5	3.9

● 問2 あなたは、糸魚川市が住みよいまちだと思えますか。あてはまるものを1つ選び、右の□に番号をご記入ください。

1	そう思う	13.0%	2	少し思う	28.8%
3	どちらともいえない	28.7%	4	あまり思わない	17.5%
5	そう思わない	9.9%		未回答	2.1%

● 問3 あなたは、これからも糸魚川市に住み続けたいと思えますか。あてはまるものを1つ選び、右の□に番号をご記入ください。

1	これからも糸魚川市に住み続けたい	63.1%
2	糸魚川市の近隣市町村に移りたい	4.0%
3	2以外の市町村に移りたい	7.2%
4	わからない	23.3%
	未回答	2.4%

● 問4 あなたは、今後、どのような生き方や生活がしたいと思えますか。あなたのお考えに近いものを次の中から2つまで選び、右の□に番号をご記入ください。

1	経済的に豊かな生活	18.9%
2	生活しやすい環境の整った生活	22.0%
3	豊かな自然環境の中での生活	11.8%
4	時間的ゆとりがある生活	8.4%
5	家族とふれあいのある生活	11.7%
6	慣習にとらわれない自由な生活	7.1%
7	レジャー・余暇活動が楽しめる生活	7.0%
8	自分の能力を生かした仕事ができる生活	5.8%
9	ボランティアなど社会のために役立つ生活	2.0%
10	日本国内にとどまらず国際的視野をもった生活	1.4%
11	その他	0.5%
	未回答	3.4%

● 問5 教育・生涯学習・文化を充実させていくためには、今後どの項目に力をいれるべきだとお考えですか。お考えに近いものを次の中から2つまで選び、右の□に番号をご記入ください。

1	保育所、幼稚園などの保育・教育内容の充実	9.7%
2	小・中学校の教育内容の充実	18.0%
3	高校の教育内容の充実	5.9%
4	教育施設の整備	12.8%
5	生涯学習の推進や施設の整備	15.4%
6	スポーツ、レクリエーション活動の振興や施設の整備	10.2%
7	芸術・文化活動の拠点施設の整備	4.9%

8	市民の芸術・文化活動に対する支援や人材の育成	8.4%
9	歴史的遺産の保全や活用の推進	5.6%
10	その他	1.1%
	未回答	8.0%

● 問6 年々、子どもの数が減少しています。この少子化に対応するため、あなたは、今後どの項目に力を入れるべきだとお考えですか。お考えに近いものを次の中から2つまで選び、右の□に番号をご記入ください。

1	3歳未満児保育、延長保育、学童保育など保育サービスの充実	13.8%
2	未就学児童の医療費助成の充実	5.5%
3	保育料の軽減	11.1%
4	育児に関する相談体制の充実	2.8%
5	地域ぐるみで子育てを支援する体制の整備	12.9%
6	育児休業など仕事と両立できる職場環境づくりの促進	20.4%
7	年金制度を含めた社会保障制度や教育費助成など国全体の制度の見直し	25.0%
8	その他	2.4%
	未回答	6.1%

● 問7 高齢化率が30%を超え、3人に1人が高齢者という状況がすぐそこまで来てい

ます。この超高齢社会に対応するため、あなたは、今後どの項目に力を入れるべきだとお考えですか。お考えに近いものを次の中から2つまで選び、右の□に番号をご記入ください。

1	健康診断、栄養指導などによる健康づくり事業の充実	8.7%
2	身体機能の維持向上を目指したスポーツ事業や機能訓練の充実	6.9%
3	高齢者の就業の場の確保・あっせんの充実	13.4%
4	寝たきりや一人暮らしの高齢者に対する在宅福祉サービスの充実	18.1%
5	特別養護老人ホームなどの入所施設の充実	20.1%
6	ショートステイなどの短期入所施設の充実	7.0%
7	高齢者住宅の建築及び改築に対する助成制度の充実	6.8%
8	移動手段を確保するため、バスなどの公共交通機関の充実	9.4%
9	バリアフリーの推進(注1)	4.2%
10	その他	1.4%
	未回答	4.0%

(注1) バリアフリーとは、障害のある人や高齢者などが社会生活をしていく上で、障害(例えば、道路及び歩道などの段差解消など)となるものを無くすことをいいます。

● 問8 若者の定住や市の財政力をつけるには、産業の振興を図る必要があります。このためには、今後どの項目に力を入れるべきだとお考えですか。お考えに近いものを次の中から2つまで選び、右の□に番号をご記入ください。

1	魅力ある観光・レクリエーション資源の開発と観光産業の振興	18.2%
2	既存企業の振興	10.2%

3	新規企業（リサイクル関連企業やIT関連企業など）の誘致	19.8%
4	農業・林業・漁業の担い手の育成、販売力強化	16.2%
5	既存商店街の振興	6.9%
6	大規模郊外商業施設の進出促進	9.7%
7	新しい起業者への支援	11.0%
8	その他	1.3%
	未回答	6.7%

● 問9 都市基盤の整備で、今後どの項目に力を入れるべきだとお考えですか。次の中から2つまで選び、右の□に番号をご記入ください。

1	国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備(注2)	18.1%
2	市道など身近な生活道路の整備	26.4%
3	新幹線などの高速交通網の整備	4.3%
4	姫川港の整備	2.2%
5	情報通信基盤の整備(注3)	9.2%
6	土地区画整理事業の推進	4.6%
7	河川整備、治山・治水対策の推進	10.8%
8	海岸の保全と砂浜再生など海辺の活用	15.6%
9	その他	0.7%
	未回答	8.1%

(注2) 地域高規格道路とは、自動車専用道路またはそれと同等の機能を持ち、時速60～80km以上の高速走行ができる道路で、当市では、長野県松本地域と糸魚川市を結ぶ松本糸魚川連絡道路の計画があります。

(注3) 情報通信基盤の整備とは、最新の情報技術を用いて画像・音声など多様な情報を送受信できる通信施設を整備することをいいます。

● 問10 生活環境の整備で、今後どの項目に力を入れるべきだとお考えですか。次の中から

2つまで選び、右の□に番号をご記入ください。

1	資源循環型社会の形成(注4)	14.2%
2	自然環境の保全に配慮したまちづくり	17.1%
3	地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備	11.5%
4	公営住宅の整備や宅地造成	4.6%
5	上水道・簡易水道等の整備	1.3%
6	下水道などの生活排水処理施設の整備	3.9%
7	都市ガスの整備	1.6%
8	道路除排雪を中心とする雪に強いまちづくり	20.4%
9	消防・救急・防災・防犯体制の充実	14.8%
10	公営墓地、火葬場の整備	3.1%
11	その他	0.5%
	未回答	7.0%

(注4) 資源循環型社会とは、廃棄物等の収集、処理、再生、再資源化等の循環型の輪が形

● 問11 これからのまちづくりには、行政と住民の費用負担や役割分担のあり方が重要な課題となることが予想されますが、あなたはどのように考えますか。お考えに近いものを1つ選び、右の□に番号をご記入ください。

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | よりよいまちづくりのため、今以上の住民の費用負担や役割分担が増えてもよい | 7.5% |
| 2 | 今の住民の費用負担や役割分担の範囲内で、まちづくりを行うべきである | 53.5% |
| 3 | 行政サービスが少し低下しても、住民の費用負担や役割分担は最小限にすべきである | 19.6% |
| 4 | どちらともいえない | 14.2% |
| | 未回答 | 5.2% |

● 問12 公共施設の使用料など、利用する人とししない人の公平性を保つため、利用する

人がある程度の費用を負担することが必要だという考え方について、あなたは、どう思いますか。お考えに近いものを次の中から1つ選び、右の□に番号をご記入ください。

- | | | | | | |
|---|--------|-------|---|-----------|-------|
| 1 | そう思う | 57.2% | 2 | どちらともいえない | 23.7% |
| 3 | そう思わない | 14.3% | | 未回答 | 4.8% |

● 問13 あなたは、インターネットや電子メールを利用していますか。あてはまるもの全ての番号を、右の□にご記入ください。

- | | | |
|---|-----------------------|-------|
| 1 | 自宅のパソコンで利用している | 14.8% |
| 2 | 学校や職場で利用している | 10.1% |
| 3 | 携帯電話やLモード対応電話機で利用している | 17.9% |
| 4 | 利用していない | 50.0% |
| | 未回答 | 7.2% |

● 問13-① 問13で4をお選びの方にお尋ねします。あなたは、今後利用するお考えは

ありますか。あてはまるものを1つ選び、右の□に番号をご記入ください。

- | | | |
|---|--------------------------|-------|
| 1 | 今すぐ利用したいが、どうすればよいのかわからない | 4.5% |
| 2 | 近い将来利用したい | 17.8% |
| 3 | 今後も利用するつもりはない | 46.0% |
| 4 | わからない | 27.8% |
| | 未回答 | 3.9% |

● 問14 あなたは、糸魚川市が今後10年間で取り組まなければならない主要な課題は、何だとお考えですか。お考えに近いものを次の中から3つまで選び、右の□に番号をご記入ください。

- | | | |
|---|---------------|-------|
| 1 | 将来を担う青少年教育の充実 | 10.0% |
|---|---------------|-------|

3	高齢化対策	16.5%
4	健康づくりの推進と医療体制の充実	9.3%
5	地域の産業振興と若者の働く場づくり	20.7%
6	防災体制の整備	3.8%
7	生活環境の整備	5.0%
8	都市基盤の整備	1.7%
9	新幹線開業に向けたまちづくり	3.2%
10	公共交通機関の確保充実	3.6%
11	地域自治組織の見直し	3.3%
12	市政に対する市民参画の推進	3.5%
13	その他	0.5%
	未回答	5.8%

● 問15 あなたは、今後、糸魚川市がどんなまちづくりを目標に進めていけばよいと思われませんか。お考えに近いものを次の中から2つ選び、右の□に番号をご記入ください。

1	健康ですこやかに暮らせる健康づくりやスポーツ活動の盛んなまち	9.0%
2	農林水産業の盛んなまち	6.0%
3	鉱工業の盛んなまち	1.3%
4	商業の盛んなまち	4.2%
5	観光資源を生かしたまち	10.0%
6	人間どうしの心のふれあいを重視したまち	10.5%
7	障害者や高齢者が暮らしやすい福祉のまち	17.0%
8	教育環境、文化環境に恵まれた教育文化のまち	6.1%
9	住環境がよく整備された生活環境のまち	12.8%
10	ゆたかな自然環境の保全に配慮したまち	9.9%
11	防災体制の整った災害に強いまち	9.0%
12	その他	0.6%
	未回答	3.6%

※ 詳しくは、別冊の「総合計画の策定に関する市民アンケート調査報告書（15歳以上市民対象）」をご覧ください。

< 中学3年生対象 >

調査期日 平成17年7月

標本数 455

回収数 438

回収率 96.3%

はじめにあなた自身のことについて、お聞きいたします。あてはまる番号に をつけてください。

性 別		1 男性 46.6%	2 女性 44.5%	未回答 8.9%
居 住 地	能生地域 (87人)	1 磯部 20.7% 4 木浦 11.5%	2 能生 46.0%	能生谷 21.8%
	糸魚川地域 (229人)	1 浦本 3.1% 4 大和川 13.5% 7 根知 1.3% 10 糸魚川 55.0%	2 下早川 9.2% 5 西海 7.9% 8 小滝 0.0%	3 上早川 2.6% 6 大野 5.7% 9 今井 1.7%
地	青海地域 (91人)	1 須沢・今村新田 31.8% 3 寺地 23.1% 5 歌・外波 0.0%	2 田海 18.7% 4 青海 15.4% 6 市振・上路 11.0%	
	未回答(31人)			

● 問1 あなたは、次の項目について、糸魚川市をどのように感じていますか。項目ごとにあてはまるものを1つ選び、右の□に番号をご記入ください。

(単位：%)

	そう思う	少し思う	どちらとも いえない	あまり思 わない	そう思わ ない	未回答
自然環境に恵まれたまち	57.0	31.5	6.2	0.7	0.7	3.9
生活環境がよく清潔なまち	16.0	43.6	27.6	7.5	1.4	3.9
高齢者が安心して暮らせる	15.5	38.6	29.2	11.2	1.6	3.9
子どもが暮らしやすいまち	12.8	28.3	30.2	18.9	5.9	3.9
成人が暮らしやすいまち	7.3	17.8	37.2	22.8	11.0	3.9
習慣にとらわれず自由に意見が言えるまち	9.4	23.5	41.8	16.4	5.0	3.9
愛着がありふるさとと思えるまち	31.0	33.5	22.4	7.1	2.1	3.9
地域の活動が積極的なまち	17.4	32.4	32.6	11.4	2.3	3.9
保健・医療施設が整備されたまち	10.5	31.3	36.2	15.1	3.0	3.9
買い物が便利なまち	6.4	8.9	13.9	28.1	38.8	3.9
観光資源が充実・整備されたまち	5.5	20.3	33.0	21.5	15.8	3.9

物価が安いまち	6.2	13.2	41.3	24.2	11.2	3.9
道路や鉄道など交通の便がよいまち	8.4	18.5	30.2	26.0	13.0	3.9
防災体制の整った災害に強いまち	6.4	14.6	47.1	21.2	6.8	3.9
子どもの教育環境がよいまち	9.6	28.3	39.5	14.6	4.1	3.9
働く場に恵まれたまち	4.8	9.6	32.0	34.2	15.5	3.9
文化芸術活動が活発なまち	8.4	24.7	41.3	16.7	5.0	3.9
スポーツ・レクリエーション活動が活発なまち	16.0	26.5	32.4	16.4	4.8	3.9

● 問2 あなたは、糸魚川市が住みよいまちだと思いますか。あてはまるものを1つ選び、右の□に番号をご記入ください。

1	そう思う	13.5%	2	少し思う	35.6%
3	どちらともいえない	28.1%	4	あまり思わない	13.7%
5	そう思わない	5.0%		未回答	4.1%

● 問3 あなたは、これからも糸魚川市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び、右の□に番号をご記入ください。

1	これからも糸魚川市に住み続けたい	24.0%
2	糸魚川市の近隣市町村に移りたい	4.3%
3	2以外の市町村に移りたい	20.5%
4	わからない	47.1%
	未回答	4.1%

● 問4 あなたは、今後、どのような生き方や生活がしたいと思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から2つまで選び、右の□に番号をご記入ください。

1	経済的に豊かな生活	15.3%
2	生活しやすい環境の整った生活	16.9%
3	豊かな自然環境の中での生活	9.9%
4	時間的ゆとりがある生活	12.6%
5	家族とふれあいのある生活	5.6%
6	慣習にとらわれない自由な生活	4.1%
7	レジャー・余暇活動が楽しめる生活	8.8%
8	自分の能力を生かした仕事ができる生活	12.9%
9	ボランティアなど社会のために役立つ生活	3.8%
10	日本国内にとどまらず国際的視野をもった生活	3.9%
11	その他	1.3%
	未回答	4.9%

● 問5 あなたは、今後、糸魚川市がどんなまちづくりを目標に進めていけばよいと思われませんか。お考えに近いものを次の中から2つ選び、右の□に番号をご記入ください。

1	健康ですこやかに暮らせる健康づくりやスポーツ活動の盛んなまち	15.4%
2	農林水産業の盛んなまち	3.8%
3	鉱工業の盛んなまち	0.7%
4	商業の盛んなまち	11.2%
5	観光資源を生かしたまち	6.3%
6	人間どうしの心のふれあいを重視したまち	7.9%
7	障害者や高齢者が暮らしやすい福祉のまち	11.4%
8	教育環境、文化環境に恵まれた教育文化のまち	3.2%
9	生活しやすい環境の整った生活環境のまち	15.5%
10	ゆたかな自然環境の保全に配慮したまち	9.4%
11	防災体制の整った災害に強いまち	8.7%
12	その他	1.7%
	未回答	4.8%

● 問6 これからのまちづくりを進めるために必要な行政と住民の費用負担や役割分担について、あなたはどのように考えますか。お考えに近いものを1つ選び、右の□に番号をご記入ください。

1	よりよいまちづくりのため、今以上の住民の費用負担や役割分担が増えてもよい	6.6%
2	今の住民の費用負担や役割分担の範囲内で、まちづくりを行うべきである	46.4%
3	行政が行う住民へのサービスが少し低下しても、住民の費用負担や役割分担は最小限にすべきである	14.6%
4	どちらともいえない	28.1%
	未回答	4.3%

※ 詳しくは、別冊の「総合計画の策定に関する市民アンケート調査報告書（中学生対象）」をご覧ください。

糸魚川市総合計画

- 平成18年11月 -

編集発行 糸魚川市
企画財政課
〒941-8501
糸魚川市一の宮1-2-5
TEL 025-552-1511(代)

印刷 糸魚川総合印刷株式会社